

NEWS Letter

<http://www.jafe.jp/>

第6回 JAFEセミナーを開催

2016年5月12日、京都大学iPS細胞研究所所長・山中伸弥教授をお迎えして第6回JAFEセミナーを開催しました。山中教授からお話いただいた演題は「iPS細胞がひらく新しい医学」。iPS細胞開発の経緯、その再生医療と創薬への可能性、ビジョン実現への努力に参加者は熱心に聞き入り、また、山中教授のウィットに富んだ挿話が語られると、会場は朗らかな笑い声に包まれました。



山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所所長 スピーチの要約

医学の道へ、基礎研究者の道へと導いた存在

小さな町工場を経営していた父は、脛に刺さったミシン針が原因で骨髄炎を発症し、その手術の輸血のためにC型肝炎になってしまった。当時、治療法が確立していなかったこの病を、父の勧めで医師となっていながらも、治すことができなかった。父を救えなかった悔恨の念から、病気の原因を解明し、治療法を開発したいと考えて基礎研究者の道を歩み出し、31歳のときカリフォルニア大学グラッドストーン研究所の博士研究員として留学。ここで研究所長のロバート・マーレー博士から研究者としてのモットーを授けられた。それは、“VとW”。V



はVision。そしてWはHard Workだ。博士から自身のビジョンを尋ねられたとき、忘れていた志を思い出した——研究者として、父のように病に苦しむ患者を救いたい——。このビジョンが羅針盤なのである。

iPS細胞発見までの道のり

グラッドストーン研究所では、もう一つ重要な出会いがあった。ES細胞である。1981年、ケンブリッジ大学のマーティン・エヴァンズ教授らがマウスの受精卵からES細胞の培養に成功した。ES細胞はどんな細胞にもなり、ほぼ無限に増やせる。医療における大きな可能性を感じ、この分野の研究を決意した。1996年、娘の就学に合わせて帰国すると、大阪市立大学で研究を続けた。暗中模索、苦悩の日々が続き、時には挫折しそうにもなった。1998年、ヒトES細胞培養の技術が開発され、再生医療への可能性はますます広がったが、倫理的な壁が立ちはだかっていた。

翌年、奈良先端科学技術大学院大学に採用され、恵まれた研究環境の中で自分の研究室を持つことになった。37歳にして研究者として独立したのである。ここで受精卵を使わずに他の細胞をリセット(初期化)し、ES細胞と同じ働きをする細胞を作るというビジョンを描き、若き院生・技術員らと共に研究を進めた。20年、30年、あるいは死ぬまで叶わないことも覚悟していたが、研究室の総力を結集して、ES細胞に極めて類似した細胞が樹立

できた。これがiPS細胞であり、2012年のノーベル生理学・医学賞受賞にいたる。

なぜマラソンを走るのか？

発見した新しい多能性幹細胞を論文にするにあたって、頭を悩ませたのはこの細胞の名前だが、幸い世界に認められる命名ができた。実は、当時流行のiPodが大いにヒントになったのだが。

iPS細胞の研究は劇的に進展しているが、医療応用は道半ばだ。現在、ビジョンとして掲げるのは、一日も早くiPS細胞を使って医療応用を実現すること。再生医療はもちろん、薬の開発にも大きく寄与したい。これを推進するために、京都大学にはiPS細胞研究所(CiRA)が設立された。現在400名の仲間とともに共通のビジョンに向かって邁進している。

そのために没頭しているのがマラソン、である。実は、CiRAの運営には多額の資金を必要とする。国からの支援を得ているが、期限付きの財源がほとんどで、優秀な研究者・研究支援者を安定的に雇用できないのが現状だ。これらの課題を克服するため、iPS細胞研究所ではiPS細胞研究基金を設置。自ら走り、基金をPRして寄付を募っている。賛同いただける方にはぜひ、温かいご支援をお願いしたい。

フリーダイヤル

0120-80-8748

(平日9時~17時)

あるいは、

「iPS基金」でインターネット検索



会員紹介された方々

◇4月4日 JAFEスペシャルセミナー

橘 フクシマ 咲江 様

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長



長年米国系人財コンサルティング企業の社長を務め、エグゼクティブ・リクルーティングに従事。2001年より、花王、ソニー、パネッセ、三菱商事、味の素、J・フロントリテイリング、ブリヂストン等日本企業9社の社外取締役。経済同友会幹事。

河本 宏子 様

全日本空輸株式会社 取締役専務執行役員



2009年に執行役員客室本部長、14年に常務取締役執行役員・女性活躍推進担当。翌年ANAブランド客室部門統括を務め、現在はグループ女性活躍推進担当、東京オリンピックパラリンピック推進本部副本部長も務める。

◇5月12日 第6回JAFEセミナー

山口 裕視 様

JAFE名誉会員
三井物産株式会社 執行役員
株式会社三井物産戦略研究所代表取締役社長



国土交通省では岡山県副知事、大臣官房参事官などを歴任し、2014年7月まで国土交通省観光庁次長として対外発信に貢献。昨年より現職。学知と実践知をどう繋ぐか、インハウスの研究所としての任務を遂行する。

広岡 敦子 様

JAFE法人会員
住友化学株式会社 執行役員
生活環境事業部 アニマルニュートリション事業部 担当



ドイツ系企業から住友化学に10年前に転職。マラリア防除用の防虫蚊帳「オリセット*ネット」を扱う事業部を率いてきた。今後マラリア以外の感染症にも事業を拡大する。生活環境事業に加え、飼料添加物を扱う事業部も担う。

Report

JAFEスペシャルセミナー開催

2016年4月4日に催したスペシャルセミナーのゲストは、内閣総理大臣夫人である安倍昭恵氏。「ファーストレディの日常」についてお話しいただきました。

安倍昭恵氏（内閣総理大臣夫人）スピーチの要旨

ファーストレディの心模様

夫が政治家になった当初は、その妻としてあるべき姿にとらわれていた。以来20年が過ぎ、今では自分に与えられた使命を果たしていけばよい、と思っている。

山口県下関市は夫の選挙区であるが、地方創生の好例として、ここにバックパッカーなどを対象にしたUZU HOUSEというゲストハウスを創設すべく参画中だ。海外からの観光客や地元のお年寄りなど、様々な人々が交流し、文化発信できる場所に育てたい。興味のある方はぜひ、遊びに行ってみてほしい。



個人としての活動

来る8月22日、ハワイで海洋環境に関するフォーラムを開催する予定。政府レベルでなく、個人的な人間関係によるイベントだ。環境問題の一環として、海を守る大切さを発信したい。

また、東日本大震災後、環境への影響を熟慮されないまま、多くの場所で高い防潮堤建設が進んでおり、建設決定後は関係者から疑問が生じて中止できない。この状況を変えるべく奮闘している。

女性や障害者など、マイノリティーが表舞台に立ち、助け合えるよう活動をしていきたい。かつて、戦時に女性は黙って身内を戦場に送り出し、無事を祈るしかなかった。これからは身近な人々を絶対に戦争には行かせない、と女性が声を上げるべきだと思う。夫とは違う形で、平和に貢献する活動をしていきたい。

JAFEの皆さんが手を取り合えば、力は何倍にも増す。よい社会にすべく、一緒に頑張りましょう。



速報：第3回サマーキャンプin蓼科 開催決定 www.jafe.jp

日時 ……2016年7月23日(土) 13:00集合 24日(日) 13:00解散

場所 ……ポピンズ蓼科研修センター

定員 ……12名

参加費 ……30,000円(交通費別・1泊4食付・消費税込、一人部屋追加料金5,000円)

詳細はHPにて <http://www.jafe.jp/seminar/160723.html>

